

科目名	宗教科教育法Ⅱ					単位	2.0
担当教員	北島 知量						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	2373

●授業のテーマ

宗教を教えるとは、どういうことか

●到達目標

宗教が心の支えになるということを、自分なりに納得できる。

●学習内容(授業概要)

宗教の名の下に、じつに様々な人間形成の働きかけがなされている。  
本講義では

- ①人間は、どこで宗教を必要とするのか
- ②宗教的に人間が育つとは、どのようなことを指しているのか

という二つの柱を基本に、テキストを講読する予定である。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 心の支えとしての宗教
2. 私の宗教とは
3. 日本人の宗教
4. 入門
5. 祈るということ
6. 迷い
7. 墮落
8. 変わる
9. 救われる
10. 気づき
11. 浄土
12. 天国
13. 宗教と倫理・
14. 宗教と戦争
15. 学校での宗教教育

●準備学習・事後学習の内容

事前にテキストを読んでおくこと。学んだこと、考えた事を、ノートに記すこと。

●成績評価方法・基準

期末レポートで評価する(100%)。

●テキスト（必携）

菅原伸郎『宗教の教科書 12 週』

●参考文献／その他

特になし。

●履修上の注意

特になし。